



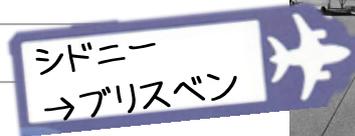
日日

6<sup>th</sup> March, 2016

9 時間半のフライトを終え、現地時間の 9 時 30 分にシドニーに到着した。飛行機から降り立った私たちを迎えてくれたのは、期待通りの眩しすぎるほどの夏の日差しと暑さだった。耳に入る、目に入る言葉は全て英語。これから 1 週間の滞在への期待に胸が躍った。



しかし、空港がとても混雑していたため入国手続きと入国審査に時間がかかり、予定していた 12 時発の飛行機に乗れなかった。15 時発の飛行機までの 2 時間、空港での自由時間となった。「お昼ご飯を買う」日本では何の不自由もなくできることであるが、英語が通じなかったり、相手の言っていることが理解できなかったりと、会話の難しさを痛感した。「スープを頼んだらパンもついてきた!」「さつまいものようなこのポテトは何だ?」「紅茶の Black or White って何?」と、「お昼ご飯を買う」だけでも、表現や食文化の違いの面白さを存分に感じられた。



1 時間半のフライトを経て、15 時半頃にブリスベンに着いた。時差の関係で、シドニーからの経過時間は 30 分。同じ国の中で時差があるというのは日本では体験できないことだ。長旅の疲れと、いよいよホストファミリーに会う期待と緊張で、胸がいっぱいになってきた。そして、待ち合わせの学校に着き、ホストファミリーとの対面。待たせてしまったのに、みんな笑顔で迎えてくれたことがとても嬉しかった。いよいよ一人ぼっちのホームステイが始まる。ワクワクドキドキする。

